

## 平成21年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その1)

計画体系コード	3-1-2		事業名	さっぽろ孤立死ゼロ安心ネットワークモデル事業
担当	保健福祉局保健福祉部高齢福祉課 三好・安藤 211-2976			
全体計画				
事業内容	マンション等の集合住宅に住むひとり暮らし高齢者等の孤立死を防止する観点から、「さっぽろ孤立死ゼロ推進会議」を設置し、市民全体への普及啓発に重点をおきつつ、孤立死の防止に向けたモデル事業を実施する。		<年度別の事業内容>	
			(平成19年度)さっぽろ孤立死ゼロ推進会議の開催、電話相談の実施、パンフレットの作成、講演・シンポジウムの開催、出前講座の実施、モデル事業の実施 (平成20年度)さっぽろ孤立死ゼロ推進会議の開催、電話相談の実施、講演・シンポジウムの開催、出前講座の実施、モデル事業の実施、緊急通報システムの試行実施 (平成21年度)電話相談事業の実施、講演・シンポジウムの開催、出前講座の実施	
事業内容	平成19年度事業内容(決算)		平成20年度事業内容(決算)	
	1. さっぽろ孤立死ゼロ推進会議の開催(平成19年10月23日開催) 2. さっぽろ孤立死ゼロ推進センターの設置(平成19年12月3日設置) 電話相談の実施(12~3月 451件) パンフレットの作成(3,000部作成) 講演・シンポジウムの開催(平成20年1月31日 331人参加) 出前講座の実施(18回実施 延べ818人参加) モデル事業の実施(中央区1棟・豊平区3棟指定、中央区・豊平区孤立死ゼロ推進会議 平成20年3月28日開催)		1. さっぽろ孤立死ゼロ推進会議の開催(年2回/平成20年6月4日、平成21年3月16日開催) 2. さっぽろ孤立死ゼロ推進センターの運営 電話相談の実施(月~金曜日、9時30分~16時30分 579件) 講演・シンポジウムの開催(平成20年10月23日 298人参加) 出前講座の実施(29回実施 延べ1,947人参加) パンフレットの作成(3,000部作成) モデル事業の実施(中央区1棟・豊平区3棟指定、中央区・豊平区孤立死ゼロ推進会議開催) 報告書の作成	
	平成21年度事業内容(予算)			
事業内容	1. さっぽろ孤立死ゼロ推進会議の開催(年1回) 2. さっぽろ孤立死ゼロ推進センターの運営 電話相談の実施(月~金曜日、9時30分~16時30分) 講演・シンポジウムの開催(平成21年6月29日予定) 出前講座の実施(随時) 報告書の作成			
事業場				
事業規模				
事業件数				
事業等				

## 平成21年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その2)

計画体系コード	3-1-2			事業名	さっぽろ孤立死ゼロ安心ネットワークモデル事業		
<b>達成目標の状況</b>							
項目	18年度末 (現状)	19年度末 (実績)	20年度末 (実績)	21年度末 (予定)	22年度末 (予定)	22年度末 (目標)	
市民啓発に出向いた回数 (参加人数 累計)	12回 (360人)	18回 (818人)	47回 (2,765人)	67回 (2,010人)	90回 (2,978人)	84回 (2,520人)	
<b>市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)</b>							
<p>市民との連携、市民参加 さっぽろ孤立死ゼロ推進会議において、福祉のまち推進センター、民生委員児童委員、老人クラブ、マンション管理組合等がメンバーとなっている。また、モデル事業においても、マンション、福祉のまち推進センター、民生委員児童委員等で構成されたさっぽろ孤立死ゼロ区推進会議を中心として事業を進め、ネットワークづくりへの参加を促進している。</p> <p>企業等との連携・協働 [資金協力] (該当なし) [人材協力] 集合住宅において、居住者同士が挨拶等でコミュニケーションを図る機会を増やし、見守りや安否確認に参加してもらうことで孤立死防止に向けたネットワークづくりを図る。 [情報協力] (該当なし) [その他の協力] (該当なし)</p> <p>市民・企業等が参加しやすい環境づくり 電話相談や講演・シンポジウムは誰でも参加できる仕組みにしており、出前講座においても、集合住宅等の居住者から要請があれば、出向いて講義等を行い、併せて孤立死ゼロに向けたネットワークづくりへの支援も行う。</p>							
<b>評価(成果)</b>			<b>課題</b>				
<p>町内会に加入していない、オートロックで建物の中に入れない、集合住宅単独で町内会を組織しているなどのために、見守りや安否確認が民生委員児童委員や地区福祉のまち推進センター等により十分に実施されていなかった集合住宅を対象に本事業を実施することで、集合住宅居住者の意識啓発を行い、民生委員児童委員や福祉のまち推進センター等を中心とした地域関係団体との連携を深めることができる。</p> <p>また、札幌市の今までの取り組みとして、約1,300世帯に設置している緊急通報システム、民生委員児童委員によるひとり暮らし高齢者の巡回相談、各まちづくりセンター単位に設置している地区福祉のまち推進センターによる見守り、安否確認などの事業を推進している。さらに、孤立死ゼロを目標とした安心ネットワークづくりに取り組むことで、地域の見守り体制の充実を図ることができる。</p>			<p>3年間のモデル事業ということで平成21年度の1年間にどこまで全市展開できるかが課題であるが、集合住宅においては、管理組合等での意思決定が必要なこと、戸建てより極めて閉鎖性が高いこと、また孤立死が身近に起こりうるとの実感に乏しい方が未だ多くいるなか、当初考えていたように順調に拡大していくことが難しいこともわかってきた。このため、地道な啓発活動を今後とも継続していく必要がある。</p>				
<b>今後の事業の予定・方向</b>							
<p>20年度までは、中央区と豊平区においてモデル事業として取り組み、そこで様々な課題を整理し、実践した中から、一定の成果(見守り活動・安否確認を行うにあたってのポイント等)を報告書として21年6月までに取りまとめ、これをもとに、シンポジウムや出前講座を行い、21年度以降は他区さらに全市への拡大を目指す。</p>							

## 平成21年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その3) (単位:千円)

計画体系コード		3-1-2		事業名	さっぽろ孤立死ゼロ安心ネットワークモデル事業		
事業費の推移							
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計	
計画	事業費	4,004	3,162	2,834	0	10,000	
	財源内訳						
	国・道支出金	2,002	0	0	0	2,002	
	市の債	0	0	0	0	0	
	その他の他	0	0	0	0	0	
一般財源	2,002	3,162	2,834	0	7,998		
予算	事業費	4,004	3,162	2,834	-	10,000	
	財源内訳						
	国・道支出金	2,002	0	0		2,002	
	市の債	0	0	0		0	
	その他の他	0	0	0		0	
一般財源	2,002	3,162	2,834		7,998		
実績	事業費	3,896	3,066	-	-	6,962	
	財源内訳						
	国・道支出金	2,001	0			2,001	
	市の債	0	0			0	
	その他の他	0	0			0	
一般財源	1,895	3,066			4,961		
事業費の進捗率		(H19実績事業費 + H20実績事業費 + H21予算事業費) / (計画事業費)				98.0%	
計画との差異(予算・実績・事業内容・規模・時期等)							
(全体)							
[19年度]							
[20年度]							
[21年度]							